

第5次高松市総合計画

地域別まちづくり



1 地域区分の目的と考え方

地域区分は、地域の特性や課題を整理する中で、各地域のまちづくりの方向性を示すことにより、市民と協働^{*}して、個性と特色あるまちづくりを進めるためのものです。

本市では、これまでも地域区分を設定し、地域別まちづくりの考え方を示す中で、相互に整合性のとれた特色あるまちづくりを進めてきましたが、平成16(2004)年5月に線引き(市街化区域と市街化調整区域の区域区分)制度の廃止を含む新しい都市計画制度が施行されるとともに、17(2005)年度の近隣6町との合併により、市域が著しく拡大するなど、地域を取り巻く環境は、大きく変化しています。

このようなことから、都市計画マスタープラン^{*}における地域区分の考え方との整合性を始め、地域の現状と課題、地理的形狀、歴史的つながりなどを総合的に勘案し、それぞれの地域の活性化を図りながら、地域間の有機的な連携により、お互いの個性と特色を相乗的に高めていくエリアを設定することとします。

<参考>

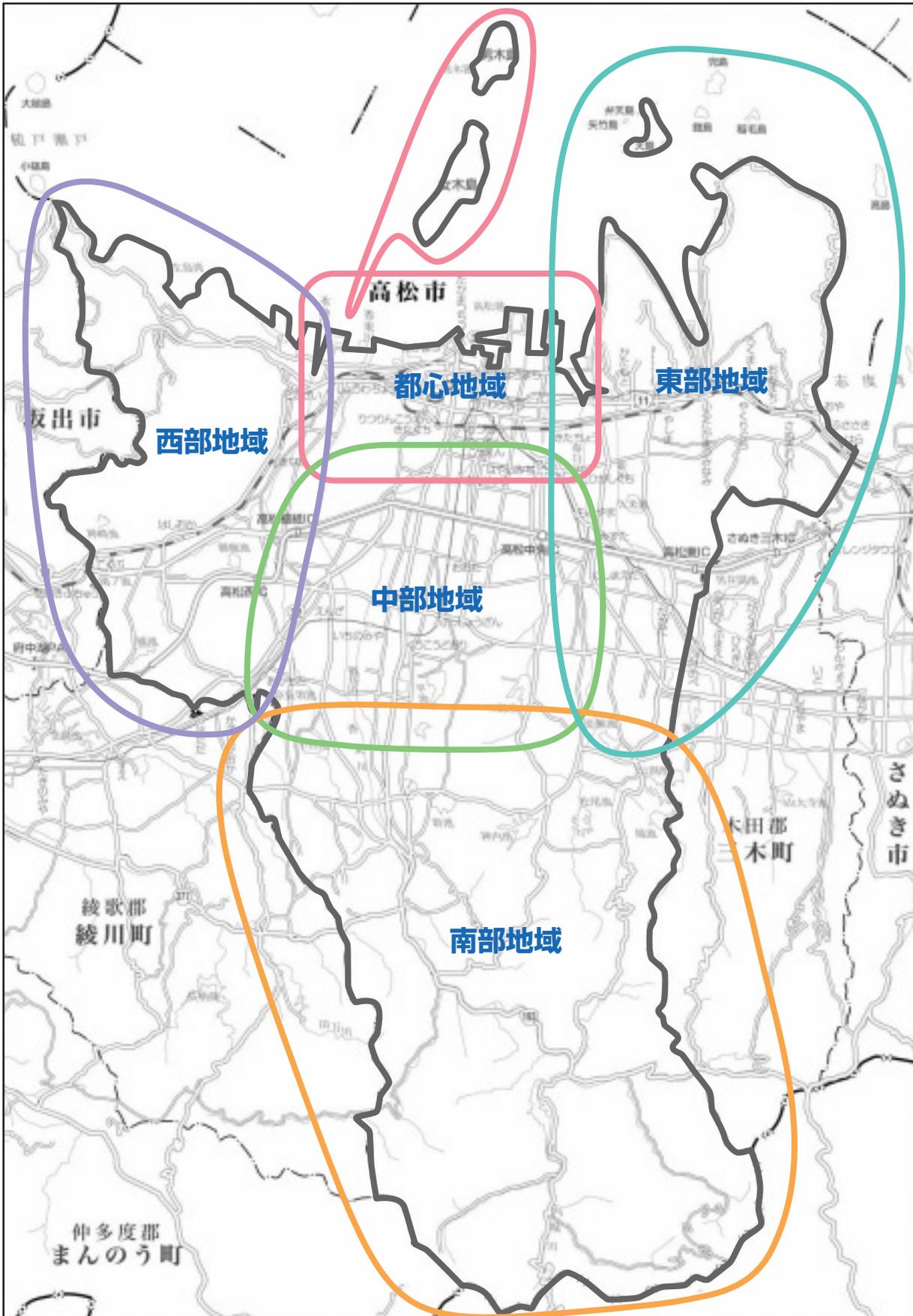
小学校区別人口

(平成19年4月1日現在:人)

| 校 区 名 | 人 口 | 校 区 名 | 人 口 | 校 区 名 | 人 口 |
|-------|--------|-----------|--------|---------|--------|
| 日 新 | 3,357 | 屋 島 東 | 3,096 | 川 島 | 10,637 |
| 二 番 丁 | 10,871 | 屋 島 西 | 9,144 | 十 河 | 8,495 |
| 四 番 丁 | 4,003 | 前 田 | 4,718 | 植 田 | 2,782 |
| 亀 阜 | 15,254 | 川 添 | 9,615 | 東 植 田 | 1,382 |
| 栗 林 | 16,027 | 林 | 8,047 | 上 西 | 488 |
| 花 園 | 9,073 | 三 溪 | 3,505 | 塩 江 | 1,408 |
| 松 島 | 9,005 | 仏 生 山 | 8,788 | 安 原 | 1,517 |
| 築 地 | 4,220 | 香 西 | 10,981 | 香 南 | 7,998 |
| 新塩屋町 | 5,078 | 一 宮 | 15,350 | 大 野 | 7,290 |
| 鶴 尾 | 11,640 | 多 肥 | 10,262 | 浅 野 | 9,443 |
| 太 田 | 12,645 | 川 岡 | 4,463 | 川 東 | 8,321 |
| 太田南 | 13,860 | 円 座 | 10,174 | 国分寺北部 | 12,425 |
| 中 央 | 11,103 | 檀 紙 | 7,612 | 国分寺南部 | 12,485 |
| 木 太 | 10,266 | 弦 打 | 10,413 | 庵 治 | 6,105 |
| 木太北部 | 8,185 | 鬼 無 | 5,902 | 庵治第二 | 158 |
| 木 太 南 | 10,417 | 下 笠 居 | 6,658 | 牟 礼 | 5,761 |
| 古 高 松 | 12,832 | 女 木 | 220 | 牟 礼 北 | 7,641 |
| 古高松南 | 8,281 | 男 木 | 223 | 牟 礼 南 | 4,889 |
| 屋 島 | 10,084 | 総 数(55校区) | | 424,597 | |

(注) 住民基本台帳および外国人登録に登録された人口を小学校区別に取りまとめたものです。

地域別計画エリア



2 地域別まちづくりの考え方

■都心地域

(1) 地域の特性と課題

本地域は、中枢管理機能[※]が集積する地域であることから、これまで、サンポート高松総合整備事業[※]を始めとする、拠点機能の整備が進められてきましたが、一方で、市街地のスプロール化[※]や大規模小売店舗の相次ぐ郊外立地によって、中心市街地の空洞化、中央商店街の活力低下が顕著となりつつあります。

また、女木・男木地区では、人口の流出とともに、高齢化が顕著になっています。

こうした地域特性を踏まえ、整理した課題は、次のとおりです。

ア サンポート高松や玉藻公園、北浜アリー[※]などのウォーターフロント[※]と中央商店街を始めとする既存市街地の連携強化により、都心の魅力をアップすることが重要となっています。

イ 小・中学校の統合に伴う、学校跡地等の有効活用が重要となっています。

ウ まち歩きを楽しめる歩道や沿道のアメニティ[※]整備が重要となっています。

エ 快適な都市景観の形成により、新たな都心イメージの醸成が重要となっています。

オ 緑の景観整備を通して、人にやさしい都市空間の形成が重要となっています。

カ 沿岸部を中心に海拔が低いことから、高潮や大雨等に対する浸水対策が重要となっています。

キ 南消防署の移転に伴う、跡地の活用が課題となっています。

ク 島しょ部では、基盤施設や生活関連施設などの整備や地域資源をいかした活性化策の検討が必要となっています。

(2) 交通の現況

- J R (高松駅・昭和町駅・栗林公園北口駅・栗林駅・木太町駅)
- 琴 電 (高松築港駅・片原町駅・瓦町駅・栗林公園駅・三条駅・今橋駅・松島二丁目駅・沖松島駅・春日川駅・花園駅・林道駅・木太東口駅)
- 路線バス等 (市民病院ループバス、ショッピングレインボー循環バス、朝日町線等)
- 航 路 (高松港、女木港、男木港)

(3) まちづくりの方向

ア サンポート高松から中央商店街などへの回遊性の確保に努めるなど、散歩が似合うまちづくりを推進します。

- イ 商店街のにぎわいづくり事業を支援します。
- ウ 統合予定の小・中学校跡地等の有効活用を図ります。
- エ 琴電片原町駅・瓦町駅周辺地区の整備に努めます。
- オ 「まちなか居住」のための住環境の整備を図ります。
- カ 空き店舗等を活用した商店街の活性化や地域活動の拠点づくりを支援します。
- キ 身近に緑と歴史が感じられるまちづくりを推進します。
- ク 高潮・大雨等に対する浸水対策に取り組みます。
- ケ 南消防署の移転に伴う、跡地の活用方法を検討します。
- コ 女木・男木地区において、引き続き離島航路の維持や国民健康保険直営診療施設の運営を行うなど交通・生活基盤を整えます。
- サ 女木・男木地区の既存観光資源の活用とともに、空き家を利用した新たな活性化方策の検討など、地域活性化を推進します。

■中部地域

(1) 地域の特性と課題

本地域は、宅地化・都市化が進行している地域であり、特に、旧高松市南部の拠点として整備された太田第2地区^{*}においては、商業機能が集積するなど、新たな市街地が形成されています。

地域内には、高松自動車道のインターチェンジが立地するとともに、国道32号、国道193号などの幹線道路が整備されています。

また、地域内に立地する香川インテリジェントパーク^{*}内には、県立図書館・文書館、県産業交流センターや四国工業技術研究所、香川大学工学部などが整備されています。

また、地域南部には、本市が都市景観形成地区に指定している仏生山歴史街道などを有するほか、ため池や里山などの自然に恵まれています。

こうした地域特性を踏まえ、整理した課題は、次のとおりです。

- ア 地域における良好な市街地を形成するための土地利用の誘導が重要となっています。
- イ 高速道路と連絡する広域的な道路の整備や周辺環境の整備が求められています。
- ウ 香川インテリジェントパーク^{*}や周辺の整備による既成市街地との一体感のあるまちづくりが求められています。
- エ 都心部への車の流入を抑制し、円滑な交通を確保するための交通結節機能^{*}の強化が求められています。
- オ 歴史的まち並みやため池、里山などの地域資源をいかした取組が課題となっています。

(2) 交通の現況

- 琴電（太田駅・仏生山駅・空港通り駅・一宮駅・円座駅・岡本駅・元山駅）
- 路線バス等（御厩・県立総合プール線、香川中央高校・日生ニュータウン線、由佐・池西線、サンメッセ・川島・西植田線、塩江線等）
- 高速道路（高松中央インターチェンジ・高松檀紙インターチェンジ）

(3) まちづくりの方向

- ア 既存の商業集積をいかしつつ、居住環境に配慮する中で、計画的な土地利用の誘導に努めます。
- イ 高速道路と連絡する幹線道路の整備や周辺環境の整備を進めます。
- ウ 香川インテリジェントパーク^{*}に立地する研究・開発施設などを核とする産業拠点や高松中央インターチェンジの立地効果を活用した拠点の形成を図ります。
- エ 通勤時間短縮や渋滞解消、環境対策などに効果の高いパーク・アンド・ライド^{*}の充実を図ります。
- オ 中心市街地へのアクセス向上を図る新駅整備の検討を進めます。
- カ 本市が都市景観形成地区に指定している仏生山歴史街道などの地域資源やため池、里山などの豊かな自然をいかした散策ゾーンの形成に努めます。
- キ 香東川河川敷やため池を活用した潤いのある安全な環境づくりに努めます。
- ク 移転後の県農業試験場跡地の有効活用方策について、県に働きかけます。
- ケ 各種災害に対応するため、本市の新たな消防・防災の拠点施設として、南消防署の移転整備を進めます。また、移転に伴う、南消防署跡地の活用方法を検討します。
- コ 下水道、合併処理浄化槽などの生活排水施設の整備を推進します。

■東部地域

(1) 地域の特性と課題

本地域は、JR高徳線、琴電志度線・長尾線、路線バスが充実する地区と公共交通サービスが十分でない地区が混在する地域です。

また、古代山城屋嶋城^{*}の城門遺構を有するなど我が国有数の歴史資産であり、観光地である屋島や源平の古戦場などを有する特色のある地域です。

また、地域を南北に縦断する新川・春日川は、暮らしの中での身近な親水空間を形成するとともに、主要地方道高松長尾大内線の開通により、人、物の流れが変化しており、幹線道路沿道地区では、大規模小売店舗等が進出するなど、混在型の住居地域を形成しています。

また、地域北部は、三方が瀬戸内海に面した半島であり、風光明媚な景観や映画のロケ地が観光スポットとなっています。

こうした地域特性を踏まえ、整理した課題は、次のとおりです。

- ア 良好な住環境の保全と沿道利用の適切な誘導が重要となっています。
- イ バス路線の充実による都心部との公共交通サービスの向上が重要となっています。
- ウ 周辺地域との連携や市民活動など交流の拡大による観光地屋島の活性化が重要となっています。
- エ 過去に床上および床下浸水等の被害を受けているため、沿岸地域の高潮対策や自然環境に配慮した治水対策が重要となっています。

(2) 交通の現況

- J R (屋島駅・古高松南駅・八栗口駅・讃岐牟礼駅)
- 琴 電 (湊元駅・屋島駅・古高松駅・八栗駅・六万寺駅・大町駅・八栗新道駅・塩屋駅・房前駅・原駅・水田駅・西前田駅・高田駅)
- 路線バス等 (屋島大橋線、浦生線、庵治線、高松東病院・大学病院線、引田線)
- 高 速 道 路 (高松東インターチェンジ)
- 航 路 (庵治港、大島港)

(3) まちづくりの方向

- ア 良好な住環境を保全するとともに、国道11号や国道11号高松東道路沿道の計画的な土地利用を促進します。
- イ 都心部との交通機関が不便な地域については、利用しやすい公共交通機関の充実に努めます。
- ウ 源平の史跡、映画ロケ地等の地域資源をいかし、本市の魅力的な観光の核として源平古戦場である屋島地域(庵治・牟礼・屋島)のにぎわいづくりに取り組みます。
- エ 過去に床上および床下浸水等の被害を受けた沿岸地区の高潮対策に取り組むとともに、河川改修や水路・ポンプ場の整備など、浸水対策に取り組みます。
- オ 河川を活用した歩行者空間ネットワークの整備に努めます。
- カ 市民の憩いの場、スポーツ・レクリエーションの場として東部運動公園の整備を進めます。
- キ 下水道、合併処理浄化槽などの生活排水施設の整備を推進します。
- ク 土地を適正に管理し、公共事業の円滑な実施などの基礎資料とするため、地籍調査^{*}を計画的に推進します。
- ケ 県道高松牟礼線から県道三木牟礼線に至る県道木田郡北部ルート(仮称)構想の推進を県に働きかけます。
- コ 上記のほか、牟礼地区・庵治地区のまちづくりは、それぞれ、合併基本計画、建設計画に基づいて推進します。

■西部地域

(1) 地域の特性と課題

本地域は、都市化が進む地区と、自然が多く残された地区が混在しており、御殿浄水場を始め、衛生処理センター、香東川流域下水道香東川浄化センター、県総合運動公園など、多くの公共施設が整備されている地域であり、都心部との密接なネットワークを形成しています。

地域北部は、五色台を始めとする豊かな緑や河川、海浜など、自然資源に恵まれた地域で、盆栽や果樹、花きなど、特色ある農業が行われています。

また、地域南部は、瀬戸大橋を経て本州に至るＪＲ・国道を擁し、高松空港にも近いなど広域的な交通結節機能[※]を有しており、都市近郊農業地域としての水と緑の田園景観が保たれていますが、幹線道路沿線地区では、沿道サービス型の小売店舗等が進出し、混在型の住居地域を形成しています。

また、本地域は、国の特別史跡である讃岐国分寺跡などの歴史的・文化的資源に恵まれています。

こうした地域特性を踏まえ、整理した課題は、次のとおりです。

- ア 地域特性をいかした土地利用の形成と都市基盤の整備が重要となっています。
- イ 幹線道路やバス路線の充実による都心地域との交通利便性の向上が重要となっています。
- ウ 峰山や香東川などにより、地理的に、中心地域と分断されているため、道路ネットワークの整備等が重要となっています。
- エ 良好な自然環境の維持と生態系の保全や、文化財の保存・活用、広域観光レクリエーションゾーンや地域資源をいかした散策ゾーンの形成が重要となっています。
- オ 過去に河川の一部が氾濫し、床上および床下浸水等の被害を受けており、自然環境に配慮した治水対策が重要となっています。

(2) 交通の現況

- Ｊ Ｒ（香西駅・鬼無駅・端岡駅・国分駅）
- 路線バス等（運転免許センター線、下笠居線、香西線、高松西高線、御厩・県立総合プール線、国分寺町循環バス）
- 高速道路（高松檀紙インターチェンジ・高松西インターチェンジ）

(3) まちづくりの方向

- ア 下水道、合併処理浄化槽などの生活排水施設の整備を推進します。
- イ 国分寺地区において、支所の有効活用を始め、隣接する国分寺会館との連携も考慮す

- る中で、コミュニティセンター機能も備えた地域の拠点となる文化施設の整備を図ります。
- ウ JR端岡駅のアクセス性の向上を図るとともに、列車運行の改善等を関係機関に働きかけるなど、駅機能の強化に努めます。
- エ 本地域と都心部を結ぶ都市計画道路木太鬼無線の早期整備に努め、西部地域の活性化や交通の円滑化を図ります。
- オ 地下水を有効活用した水運用計画に基づき、御殿浄水場における水道水源の安定的確保を図るため、都市計画道路木太鬼無線の道路改良工事に併せて導水管を布設します。
- カ 全国的にも有名な松盆栽を始め、果樹や花きなどのブランド化に努め、農業の振興を図ります。
- キ 海岸線や五色台、ため池、河川などの水辺景観や豊かな生態系などの保全と地域資源をいかした散策ゾーンの形成に努めるとともに、文化財の保存・活用を図ります。
- ク 河川改修や水路・ポンプ場の整備など、浸水対策に取り組みます。
- ケ 上記のほか、国分寺地区のまちづくりは、建設計画に基づいて推進します。

■南部地域

(1) 地域の特性と課題

本地域は、山、川、花や緑等の自然環境に恵まれた、水資源を供給する自然と共生している潤いのある地域であり、特に地域南部では、豊かな森林資源や温泉等を有しており、グレードの高いレクリエーションや保養の場を提供しています。

また、地域北部は、空の玄関である高松空港を擁しており、都心部とはリムジンバスにより30分余りで結ばれています。

また、地域東部では、お茶栽培等の農業生産が活発ですが、他の地域に比べ公共施設が少ない地域であり、公共交通機関が未整備の地区や上水道の未給水地区もあります。

こうした地域特性を踏まえ、整理した課題は、次のとおりです。

- ア 自然環境と調和した良好な住宅環境の形成と各住区における地域施設のネットワークの形成が重要となっています。
- イ 幹線道路やバス路線の充実による交通利便性の向上が重要となっています。
- ウ 温泉を核とし、森林浴や農業体験など地域資源をいかした保養型・体験型の観光交流が重要となっています。
- エ 快適な自然環境の形成と生態系の保全が重要となっています。

(2) 交通の現況

- 琴 電（仏生山駅・空港通り駅）
- 路線バス等（高松空港リムジンバス、香川中央高校・日生ニュータウン線、由佐・池西線、サンメッセ・川島・西植田線、塩江線、香川町コミュニティバス、香川町シャトルバス、塩江町コミュニティバス）
- 空 路（高松空港）

(3) まちづくりの方向

- ア 自然環境と調和した良好な居住環境の形成を促進するとともに、適正な土地利用を誘導します。
- イ 様々な機能を有する森林の保全を図り、水資源の確保や潤いのある空間を創出するとともに、里山、ため池、河川などの水辺景観や豊かな生態系の保全・有効活用に努めます。
- ウ 地域の足としての公共交通機関の確保と生活道路の整備を推進します。
- エ 通勤時間短縮や渋滞解消、環境対策などに効果の高いパーク・アンド・ライド[※]の活用を支援します。
- オ 上水道の未給水地区の解消を計画的に推進します。
- カ 認定農業者や新規就農者など意欲ある農業者の確保・育成と集落営農[※]組織の育成を図るとともに、遊休農地を活用したふれあい市民農園[※]など、農業に親しめる仕組みづくりに努め、農業を通じた交流を促進します。
- キ 下水道、合併処理浄化槽などの生活排水施設の整備を推進します。
- ク 南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備を進めます。
- ケ 次代を担う子どもたちの好ましい教育環境を実現するため、塩江地区の合意形成の動向を踏まえながら、学校の統合を進めます。
- コ 土地を適正に管理し、公共事業の円滑な実施などの基礎資料とするため、地籍調査[※]を計画的に推進します。
- サ 香東川水系の治水対策や渇水時等の水源確保のため、椀川ダム[※]の整備を促進します。
- シ 市南部における東西幹線道路として県道三木綾川線バイパスルート（仮称）構想の推進を県に働きかけます。
- ス 上記のほか、塩江地区・香川地区・香南地区のまちづくりは、建設計画に基づいて推進します。

